

介護保険料について

恵那市の介護保険料は、近隣市町村に比べ割高である。各市町村の保険料額を調査し、市民に理解を求められたい。なお全国平均は4090円である。

(匿名)

答

65歳以上の方の介護保険料につきましては、サービスに係る費用などを基に、3年ごとに見直しを行っています。(本紙5月1日号に掲載)

恵那市の月額平均は3438円です。県下の平均は3819円で、近隣では、多治見市3938円、土岐市3569円、瑞浪市3116円、中津川市3755円(一部3300円、3000円)であり、比較すると恵那市は割高となっておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

(高齢福祉課)

休日や祝日も可燃ごみの収集を

現在、祝日の場合は収集していませんが、ごみは日常生活で平日・休日関係なく出ます。以前住んでいた名古屋市では、収集日が祝日であってもきちんとして収集してくれました。ごみ袋を置いておくことは、カラスの標的にもなり、ごみの散乱につながります。

最近では、平日・休日に関係なく行政サービスを提供する所が増加しています。ごみは住民生活に直結しているものであり、衛生上の視点からも考えていただきたいと思えます。

(高木さん・岩村町)

答

ごみ収集につきましては、平成18年度から恵那市全域週2回の収集を行っています。祝日の行政サービスの実施は、費用対効果も大事なことから考えています。収集運搬だけでなく、処理施設の稼働も必要であり、全施設的全職員体制が必要となります。また建設時の地域の皆さんとの約束(土日の稼働はできない)もあり、早急な実施は難しい状況です。

カラスの問題につきましては、

収集日に排出していただき、被害を少なくしていただきたいと思います。また環境課では、カラスネットを無料で配布していますので、ご利用願いたいと思います。

(環境課)

チャイルドシートの貸し出しについて

他市では子育て支援の一環として、チャイルドシートの貸し出しがあるのですが、恵那市はどうですか。おじいさん、おばあさんにも孫の世話をする上で、貸し出しがあるといいと思います。

(平成18年度市政モニター)

答

恵那市では、防災対策課、岩村・山岡・明智・串原・上矢作振興事務所でチャイルドシートの受け付けを行っています。貸し出し者は、「交通安全共済」に加入して、市税の滞納がない市民の方」としています。使用料は徴収していませんが、壊れた場合は修繕して返却いただくようお願いしています。

またチャイルドシートのPRは、広報えなで年1回行っています。

(防災対策課)

廃油はどこへ？

先日、京都の市バスの一部にてんぷら油(廃油)で動くバイオディーゼル・バスが使用され始めたと報道されました。

恵那市では、集められた廃油はどうなっていますか。

(市川さん・大井町)

答

食用廃油(てんぷら油)の回収は、8月から市内全域に広げて毎月1回、実施します(本紙7月15日号で詳細をお知らせしています)。

市で回収した食用廃油は、市内団体に試験的にバイオディーゼル燃料として活用される予定です。将来的には、京都市と同様に一部の公用車に使用するなどして、食用廃油の回収と再利用を進め、資源の有効活用と温室効果ガスの排出量削減に努めていきたいと考えています。

(環境課)



市民のための業務を

恵那市と恵南町村が合併して、新たに恵那市となったが、同時に大勢の恵那市職員が生まれた。この職員が市民のために適切な業務をしているのでしょうか。多くの職員が働く場を考えるとほしいものです。

例えば、証明書発行窓口では、5時締め切りではなくて、7時まで交代で勤めて代休を活用することか、公民館・図書館・体育館は交代勤務などで常時市民に開放するとか、登下校時の児童の安全確保とか、学校での児童・生徒の自習がなくなるよう、学校と連携して授業の確保をするなど、市民のための業務に職員の活躍が期待される。合併して職員が増えたことで、良かったと思える市政にしてほしい。

(堀川さん・大井町)

答

恵那市では、平成17年度に組織・予算・職員の節約だけにとどまらない経営指標によるサービスの評価改善や、地域の多様な主体と協働して、市民サービスを担う仕組みをつくる必要から、平成18年度から平成22年度までの行財政改革計画を策定しました。

この中で、市民の視点に立った行政サービスの質の向上のため、6月に職員による職場検討プロジェクトチームを発足させ、市民のサービスに対する満足度向上のための事業実施を考えています。ご意見にありました、窓口サービス時間の拡大や、施設利用方法の検討なども進めています。

ご指摘の職員数につきましては、市民サービスを提供するため、適正な職員配置をしています。平成17年度に定員適正化計画を策定し、組織のスリム化や職員数の適正化と併せ、市民サービスの向上を目指していますので、今後ともご意見いただきますようお願いいたします。

(総務課)

ちよつと一言インタビュー



座禅、写経などを体験
木戸口 龍一君
(恵那北小学校6年生)
長楽寺では、お経が難しく覚えていく、座禅の足がなかなかうまく組みませんでした。写経は、自分なりにうまく書けました。全部を書き上げてお母さんに見せたいと思います。



わたしだけの抹茶茶わん
春日井 里菜さん
(山岡中学校1年)
小学生のときは湯のみ茶わんを作りました。今回はもっと大きな抹茶茶わん。しわが付かないように伸ばしながら形取るのがとても難しかったです。10月の焼き上がりが今から楽しみです。



本物の火縄銃の重さ実感
大嶋 優也君
(串原小学校6年生)
火縄銃を持って思ったことは、まず重いこと。それにけっこう長くて、かっこよかった。織田信長は本当に頭がいいと思いました。銃のちゃんとしたかまえ方がすごいいいと思いました。



災害をみんなで備える
三浦 由理さん
(山岡小学校6年)
消防隊で消化訓練や、火事や災害が起きたときに、自分はどう動いたらいいか、火事を起こさないために何に気をつけたらいいかを勉強しました。家族にも報告して一緒に考えたい。